

(公社)土木学会 令和元年度 地盤工学セミナー
「仮) 突然の噴火に対して火山工学は何ができるか」



主催： (公社)土木学会 地盤工学委員会

後援(予定)： (公社)地盤工学会 (公社)土木学会 (一社)建築学会 (特非)日本火山学会

日時・場所： 2019年12月20日(金) 13:00～17:00 (公社)地盤工学会(東京都文京区千石4丁目38番2号)

■■■ 会場が地盤工学会本部です。お間違えないようご注意ください。 ■■■

定員： 120名

参加費： 主催・後援団体会員2,000円, その他3,000円, 学生：無料

申込み方法： 本紙末尾をご参照下さい。

申込み期限： 2019年12月13日(金) ただし, 定員になりしだい受付を締め切ります。

問合せ先： 土木学会地盤工学委員会 事務局担当：工藤

E-mail : kudo@jsce.or.jp / TEL : 03-3355-3559

プログラム

1. 開会挨拶 (13:00～13:15) 桑野 玲子 (土木学会地盤工学委員会委員長・東京大学)
2. 「御嶽山の突発的な噴火と被害」 (13:15～13:45) 及川輝樹 (産業技術総合研究所 地質調査総合センター)
3. 「本白根火山噴火によるロープウェイ被害」 (13:45～14:15) 吉本充宏 (山梨県富士山科学研究所 火山防災研究部)
4. 「阿蘇山噴火による火口周辺建物の被害調査」 (14:15～14:45) 曽根孝行 ((株)竹中工務店 技術研究所)
- ～～～ 休憩 (14:45～14:55) ～～～
5. 「国内の噴石シェルターの種類と整備状況」 (14:55～15:25) 佐々木寿 (アジア航測(株) 火山防災課)
6. 「シェルターの強度に関する衝突実験」 (15:25～15:55) 山田浩之 (防衛大学校 システム工学群 機械工学科)
7. 「大雪後の降雨による大スパン建造物の崩壊」 (15:55～16:25) 高橋徹 (千葉大学工学部建築学科)
8. 「首都圏の大規模噴火による火山灰被害想定」 (16:25～16:55) 藤井敏嗣 (山梨県富士山科学研究所)
9. 閉会挨拶 (16:55～17:00) 岡村 未対 (土木学会地盤工学委員会副委員長・愛媛大学)

進行： 千葉 達朗 (地盤工学委員会 火山工学小委員会小委員長・アジア航測(株))

総合司会： 石井 裕泰 (地盤工学委員会幹事長・大成建設(株))

申込方法：

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内 (<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX (03-3355-5278) でお申し込み下さい。申込到着後、開催日 1 週間前までに折返し「参加券」をお送りいたします。土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1) 土木学会個人会員、法人会員ではなく、後援学会会員の方は申込み用紙の通信欄に所属学会名の記入をお願いします。
- (2) 参加費は原則事前振込とさせていただきます。なお、所属先の経理上の都合により事前振込が出来ない場合には通信欄にその旨お書き添え下さい。
- (3) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。
- (4) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の 1 週間前までに上記の「問合せ」にメールにてご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (5) 申込みをされる前に送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。